

優 良 賞

自然を守る

鹿沼市立栗野中学校一年

山 本 真 凜

私の家の周りは、自然であふれています。家の後ろは、五十メートルほど歩けば山で、目の前には川があり、虫だつてたくさんいます。その環境を生かして、活動していることもあります。私の地元の和田水ホタルの里では、毎年夏、ホタルの鑑賞会が行われています。この行事は、今年で十八回をむかえ参加者も増えてきました。ほかに、菜の花交流会や、水中の生き物観察会など、自然豊かな土地だからこそ出来ることがたくさんあります。菜の花交流会は、菜の花や山菜など地元で作られた天然の物を地域の人たちが揚げたり、煮たりしてくれ、おいしいお昼ごはんが食べられます。都会から来る方もいて、「ここもおいしい料理が食べられて、よかったです。」と、言ってくれたり、「また来たいです。」と、言ってくださる方を見ます。とてもうれしくなります。テレビ局の取材を受けることもあります。このような行事や、ホタルの里があるのは、この自然のおかげだと思います。この自然がなくなってしまうたら、どうなってしまうのでしょうか。木は、二酸化炭素を吸って、酸素を出してくれます。人間は、酸素を吸って、二酸化炭素を吐きます。だから、木より人口率が高くなってしまうたら、人間や動物達は生きていけないと思います。だから、森林を守る活動を広げていくべきだと思います。先日、私は、ホタルの里の菜の花交流会に参加しました。そこで友達と一緒に虫採りをしました。その帰りに、持てないほどいっぱい菜の花を摘んだ、参加者がいました。その人は遠くから参加してくれただ、おばあちゃんでした。シオルダーバッグの中からはみ出すほど、たくさん菜の花を摘んだおばあちゃん、後片づけをしている地元の人の所に近寄

り、「袋ありますか。」と、言ってきました。その場には、私と、私の母がいました。そのおばあちゃんの一言を聞いた私は、「袋とつてごようか。」と、母に言い、取りに行くことにしました。私の家は、会場から近いので、走って取りに行きました。戻ってきて、おばあちゃんにわたすと、「ありがとね。」と笑顔で言ってくれました。とてもうれしくなって、そこから気分がぐんと変わりました。こんな経験が出来たのも、森林また自然のおかげだと思っています。森林や自然は、いろいろなことをたくさん経験させてくれます。そして、その経験から人と人もつながってくれます。他にもマヌヤ、アリのつかみ取りが出来たり、ツリーハウスを作れたり、多くの楽しいことやすばらしいことを教えてくれる場です。だから、森林や自然がなくなってしまうのは、大変なのです。みなさんも、自然を感じてみましょう。きっと、気分が良くなるはずです。

